

ぶらっと通信

HP：おおい町里山文化交流センター [検索](#)

おおい町立名田庄図書館 [検索](#)

〒917-0382 福井県大飯郡おおい町名田庄久坂 3-21-1 ◆名田庄公民館 ☎0770-67-3250 ◆名田庄図書館 ☎0770-67-3703
(開館 9:00~22:00) (開館 9:00~18:00)

3月

4月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				



は休館日です。



は図書館のみ休館です。



閉館中の図書の返却について

ぶらっと正面玄関横の返却ポストをご利用ください。

CD、DVD、町外から借りた図書は、開館中にカウンターへ直接返却ください。



3月の行事予定

★マークは、事前に申込みをお願いします。

- 1日(金) 10:30~11:30 出張図書館 (あつとほ~むいきいき館) [図書館]
- 6日(水) 13:30~15:30 布絵本の会 [図書館]
- 7日(木) 10:30~11:45 ★おひざでだっこ スペシャル (※定員になりました)
「スマホでわが子を世界一可愛く撮るコツ&親子で楽しむ赤ちゃん絵本のススメ」 [図書館]
- 10日(日) 13:30 ~ 第40回 多聞の会
「渡辺 淳 先生を語る」 [公民館]
- 13日(水) 10:30~11:30 出張図書館 (あつとほ~むいきいき館) [図書館]
- 14日(木) 16:20~16:30 おはなしのへや(幼児向け) [図書館]
- 19:30~21:00 筆ペン書き方教室(最終回) [公民館]
- 23日(土) 13:30~15:00 ★文学講座
『『方丈記』・『徒然草』に聞いてみた。一女のこと、都のこと、無常のこと、など。』 [図書館]
- 29日(金) 10:30~11:30 出張図書館(あつとほ~むいきいき館)[図書館]

★3月のピックアップ行事★

第40回名田庄多聞の会

渡辺 淳 先生を語る

渡辺先生と名田庄の関わり、楽しいエピソード、先生が残してくださったものなどについて参加者で語りあいます。

日時：3月10日(日) 13:30~

参加費：飲み物代 100円

《お気軽にご参加ください》

図書館文学講座

名田庄出身で、現在上越教育大学特任教授の下西善三郎さんによる、初心者向けの文学講座です。

日時：3月23日(土)

13:30~15:00

定員：15名(申込受付順)

申込み：3月15日(金)までに

図書館へ。



※日程は都合により変更する場合があります。最新の情報は館内掲示やホームページをご覧ください。

あなたにスポット!

この欄では、「あなたにスポット!」と題して、いろいろな活動をしている方にご登場いただき、紹介しています。

むらかみ まさすみ 《村上 正純さん》

今回は、映画が大好きで、映画や音楽に関するたくさんの資料を収集しておられる、村上正純さん(久坂在住)をご紹介します。

「年月が経っていても、名作映画は今も変わらない感動を与えてくれる」

「映画好きの者どうして、ここでゆっくり喋れたらええなあ〜」



退職2年後(2016年)、大阪より名田庄に帰って来られた村上さん。

大阪におられたときは、年間200本は観ていたという熱烈な映画ファン。

音楽や小説も好きで、昨年の高石ともやさんのコンサートがあったときにはロビーの展示コーナーでご協力をいただいていた。

ご自宅の一室には、映画関係の本や、レコード(約450枚)が棚に隙間なく天井まで並べられ、CD(約650枚)は、壁に沿って床から積み上げられていました。

音楽は日本や外国のフォーク・ロック、沖縄・アイランド音楽など、ジャンルは多岐にわたっています。

中でも、100年前から創刊されている映画専門誌『キネマ旬報』(日本で公開される全ての映画を紹介)を1970年から定期購読され、約50年分の1200冊の全てが揃っており、背表紙を揃えて並べると12メートルにもなるとのこと…まさしく圧巻のひとつです。(手作りのスクリーンもあり、上映も可能!映画好きの人にとっては、たまらない環境ですね。)

「今や、インターネットであらゆる情報が簡単に手に入るけれど、その時代にまつわる本を紐解くことで、時代の匂いがよみがえってくる。映画監督の言葉や解説をふと見なくなった時に、いつでも手に取って見られるように、こうして手元に置いている」と村上さんは話されました。



1200冊の「キネマ旬報」は宝物や〜



貴重な「キネマ旬報」第1号

(復刻版)

大阪へ出てから観た『東京物語』(小津安二郎/1953)・『浮雲』(成瀬巳喜男/1955)・『近松物語』(溝口健二/1954)は、村上さんの生まれた頃に作られた日本映画だそうです。「当事の日本の風景がよみがえる名作であり、年月が経っていても、今観ても楽しく、“感じるもの”がある。展開の早さやSF X(特殊撮影)など最新の技術ではないので、若い人には感覚が合わないかもしれないが、名作は時代を越えて心に感じるものがあると思う。夏目漱石や芥川龍之介の小説のように生き続ける映画もある。」と、映画に対する熱い思いを語ってくださいました。

高校時代から本格的に映画の面白さに魅かれ、特にテレビで観たフランス映画「かくも長き不在」(1961)では戦争の悲惨さに強く心打たれ、映画の訴える力のすごさを痛烈に感じ、益々深くのめり込むようになったそうです。

(大きな声では言えませんが、高校をサボってよく映画を観に行っておられたそうですよ←これってオフレコだったかな?)

「当時、映画の資料というものがなかなかなくて、僕自身が、『こういう場所があったらいいなあ〜』と理想に描いていたことがこれなんや!(所蔵品を展示した部屋)。せっかくの資料を一人でながめているのはもったいない。映画が好きなのはもちろん、たまたまテレビなどで観て『あのときの映画よかったな…その記事が載っている本をみたいな』と言う人も、気軽にここに見に来てほしい。」

「実は今、いろいろ企画を考えているところで、もっと広く、出入り自由なところで多くの人に映画の本や資料を見てもらえるようにしたいと思っているんや」と、膨大な映画資料を前にアイデアと夢を膨らませている村上さんでした。

《村上さんからの伝言》

「昔、「知三会館」(なんと現公民館あたり)というのがあって、そこで映画をやっていました。図書館からの提案で、公民館と一緒に、「知三会館」のことを調べています。当時のことを覚えておられる方、写真や資料をお持ちの方はお知らせください。」

—— 思えば子どものころ、ここでハラハラドキドキしながら観たチャンバラ映画が、映画を好きになった原点かなあ

..... どうぞご協力をよろしくお願ひします。



シアターの準備万端!



無造作に積まれたCD

☆公民館雑記帳☆ ぶらっとの特設ギャラリーでは、名田庄中学校広報委員会作成の「生徒の普段の様子」を写真で紹介展示しています。授業風景や休み時間・給食・委員会などの普段あまり見ることができない姿が見られ、興味深く見て行かれる方がいます。また“渡辺 淳先生を語る”(3/10)に合わせて渡辺孝男さん(淳さんの絵画教室に通っておられた)の絵画も展示しております。どうぞお立ち寄りください。公民館カフェもお待ちしています♡



館内行事より

素敵なコサージュ作り (1/30) (名田庄公民館生涯学習推進委員会主催)

講師に前田和美さん(小浜市)をお迎えし、コサージュ作りを楽しみました。材料の中から、好きな色のシルクフラワーを選び、自由に組み合わせ、世界にたった一つのオリジナルコサージュが完成!中には、お子さんの卒園式のときにつけようと参加されたお母さんもありました。



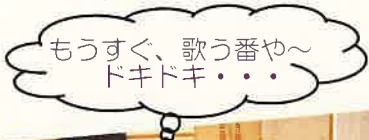
どんな組み合わせにしようかな～



お気に入りのコサージュを胸に・・・

名田庄カラオケクラブ 歌謡祭 (2/22) (貸館事業)

名田庄カラオケクラブの協力により、社協主催で「歌謡祭」が行われ、“きぼう”や“ひだまり”の利用者の皆さんらで賑わいました。会場は和やかな雰囲気に入れられ、皆さん楽しそうに拍手を送っておられました。カラオケクラブの皆さんも、首にレイをかけてもらってすっかりスター気分で気持ち良さそうに歌われていました。



図書館「川柳コンクール」★特別賞&選者吟★

「スポーツ」 前川 正子 選 「うっかり」 香川 亮 選 「よむ」 前田 和子 選

「スポーツ」

接戦の試合から目がはなせない

前川正子

「スポーツ」

応援をいつもありがとお母さん

名田庄小学校

細川千晴

「うっかり」

少年の悲鳴うっかり聞き漏らす

香川亮

「うっかり」

うっかりとまえがみちらよつときりすぎた

大飯中学校

経種心

「よむ」

温かい友の便りを読む至福

前田和子

「よむ」

とよかんてみんなてどくよたのいな

本郷小学校

高木元翔

探検!発見!これ、読みニャ
～大きな文字で
楽しむ読書～



細かい文字、狭い行間を追うことで目が疲れ、好きだった読書が楽しめなくなってきた...とお悩みの方におすすめしたいのが、「大活字本」です。たとえば・・・

「吾輩は猫である。名前はまだない。」

「吾輩は猫である。
名前はまだない」



その名の通り、内容はそのままに大きな文字、読みやすい行間で印刷されており、時代小説、エッセイ、現代小説など豊富に出版されています。図書館でも現在400冊を余り揃えていて、最近では『空飛ぶタイヤ』・『七つの会議』池井戸潤/著、『流星の絆』東野圭吾/著などの話題本も入りました。【大活字本コーナー】がありますので、ぜひご覧ください。

【新しい本】子ども向け

新着本は、図書館入口の掲示板でも公開しています。
図書館のホームページから、検索や予約もしていただけます。

◆ えほん ◆

- 『どんぶりん』/新井 洋行
- 『さくらもちのさくらこさん』/岡田 よしたか
- 『そのうえのそうでんせん』/鎌田 歩
- 『はいたっち』/からさわ ようすけ
- 『うかいのうがい』/さくら せかい
- 『うたう!ももたろう』/スギヤマ カナヨ
- 『ちゆんたろうのしょうがつこうたんけん』/田島 かおり
- 『クマさんのいえへいかなくちや!』/ブライアン リーズ



◆ ものがたり ◆

- 『バドミントン★デイズ』/赤羽 じゅんこ
- 『砂に書いた名前』/赤川 次郎
- 『おばけのアッチ スパゲッティ・ノックダウン』/角野 栄子
- 『ほくら×怪盗レッド』/宗田 理・秋木 真
- 『古い師のオシゴト』/高橋 桐矢



◆ しらべる・ちしき ◆

- 『ザンネン!?な日本史』/チームガリレオ
- 『クジラのおなかからプラスチック』/保坂 直紀
- 『羽生善治』/金田 達也まんが
- 『ことばハンター』/飯間 浩明



【新着本】一般向け

◆ 実用書 ◆

- 『できる PowerPoint2019』/井上 香織里
- 『世界一周ビジネスクラス BOOK』/世界一周 NAVI
- 『医師が教えるゼロポジ座り』/中村 格子
- 『USB メモリー徹底活用技』/オンサイト
- 『秒でわかる!最強の家事』/かずのすけ
- 『食べて健康になるレシピ 250』/オレンジページ
- 『S 字フックで空中収納』/ホームライフ取材班
- 『これから始める人のための狩猟の教科書』/東雲 輝之

◆ 小説 ◆

- 『早朝始発の殺風景』/青崎 有吾
- 『天命』/岩井 三四二
- 『ニムロッド』/上田 岳弘
- 『麒麟児』/沖方 丁
- 『そして旅にいる』/加藤 千恵
- 『永田町小町バトル』/西條 奈加
- 『駒音高く』/佐川 光晴
- 『神さまのお恵み』/佐藤 愛子
- 『木曜日の子ども』/重松 清
- 『ピーク』/堂場 瞬一
- 『歌舞伎町ゲノム』/誉田 哲也
- 『1R1分34秒』/町屋 良平
- 『メアリ・ポピンズ』/トラバース作 岸田 衿子 訳

◆ ファンクション ◆

- 『クッキングと人生相談』/枝元 なほみ
- 『梅原猛の『歎異抄』入門』/梅原 猛
- 『日本国紀』の副読本』/百田 尚樹
- 『国民とともに歩まれた平成の30年』/宮内庁侍従職
- 『美知子さまという奇跡』/矢部 万紀子
- 『もつとってはいけない』/橋 玲
- 『角さんとじゃじゃ馬』/田中 眞紀子
- 『学校の「当たり前」をやめた。』/工藤 勇一
- 『箱根0区を駆ける者たち』/佐藤 俊
- 『樹木希林120の遺言』/樹木 希林
- 『海苔と卵と朝めし』/向田 邦子



『麒麟児』/沖方 丁 迫る官軍5万人、切り札は焦土戦術。勝海舟と西郷隆盛、2人の麒麟児を描いた長編歴史小説。

『駒音高く』/佐川 光晴 プロ棋士を目指す中学生、引退前の棋士、将棋会館清掃員...それぞれの青春を描く短編集。

歌舞伎町にはこの街なりの秩序がある。法で裁けない非道を始末する伝説の「歌舞伎町セブン」に舞い込む依頼とは...。シリーズ最新作。



◆◆ 貸出・予約の多い本 ◆◆ (H31.1~H31.2)

◆ 貸出 ◆

- 『マスカレード・ホテル』/東野 圭吾
- 『七つの会議』/池井戸 潤
- 『十二人の死にたい子どもたち』/沖方 丁
- 『全スーパー戦隊コンプリート超百科』
- 『きつねうどんたぬきうどん』/古内 ヨシ

◆ 予約 ◆

- 『宝島』/真藤 順文
- 『フーガはユーガ』/伊坂 幸太郎
- 『七つの会議』/池井戸 潤
- 『かがみの孤城』/辻村 深月
- 『一切なりゆき』/樹木 希林



☆図書館雑記帳☆ 「ベストセラーで振り返る平成」の特集と共に実施していた「心に残る平成の1冊」「読み継がれてほしい平成の1冊」のアンケート結果を3月から特集します▼平成初期には吉本ばななやシドニィシェルダン、中期にはハリポッターやケータイ小説が流行しました▼最近では本屋大賞受賞作やダイエット本が▼皆さんは、平成といえばどんな本を思い浮かべますか?